

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 26 年 5 月 8 日 (2014.5.8)

【公表番号】特表 2013-535889 (P2013-535889A)
【公表日】平成 25 年 9 月 12 日 (2013.9.12)
【年通号数】公開・登録公報 2013-050
【出願番号】特願 2013-519948 (P2013-519948)
【国際特許分類】

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 13/04

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 次元 (3D) マルチメディア装置で使用されるメインの 3 次元コンテンツ及び補助のコンテンツを提供する方法であって、

前記メインの 3D コンテンツを表示する段階と、

前記メインの 3D コンテンツの 3D に関連するイベントにより前記補助のコンテンツをトリガする段階とを含み、

前記補助のコンテンツの深さの値は、前記メインの 3D コンテンツの深さの値の変化に従って更新される、方法。

【請求項 2】

前記 3D に関連するイベントは、予め決定されたトリガ条件が前記メインの 3D コンテンツで生じたときに前記補助のコンテンツをトリガするため、前記予め決定されたトリガ条件と比較される、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記メインの 3D コンテンツの前記 3D に関連するイベントは、前記メインの 3D コンテンツの深さの値、前記メインの 3D コンテンツのオブジェクト又は領域の 3D 位置、3D 姿勢及び 3D スケールを含むグループの一部である、

請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記メインの 3D コンテンツと共に前記補助のコンテンツを表示するか、又は前記メインの 3D コンテンツとは別に前記補助のコンテンツを表示する段階を更に含む、

請求項 1 乃至 3 の何れか一項記載の方法。

【請求項 5】

前記補助のコンテンツは、グラフィックス、テキスト、オーディオ及び / 又はビデオを含むマルチメディアデータ、及び 3D 画像の集合である、

請求項 1 乃至 4 の何れか一項記載の方法。

【請求項 6】

前記メインの 3D コンテンツは、ユーザにとって関心のあるオブジェクトを含み、

前記補助のコンテンツの前記深さの値は、前記補助のコンテンツを前記メインの 3D コ

ンテンツにおける前記オブジェクトと一体となって表示させるために更新される、
請求項 1 記載の方法。

【請求項 7】

メインの 3 次元 (3 D) コンテンツと補助のコンテンツを提供する 3 D マルチメディア装置であって、

前記メインの 3 D コンテンツを表示する 3 D ディスプレイと、

前記メインの 3 D コンテンツの 3 D に関連するイベントにより前記補助のコンテンツの表示をトリガするユーザ端末と、

前記補助のコンテンツの深さの値を、前記メインの 3 D コンテンツの深さの値の変化に従って更新する更新手段と、

を備える 3 D マルチメディア装置。

【請求項 8】

前記メインの 3 D コンテンツの深さの値、前記メインの 3 D コンテンツのオブジェクト又は領域の 3 D 位置、3 D 姿勢及び 3 D スケールを含む 3 D に関連するイベントトリガを記憶するイベントトリガリストモジュールを更に含む、

請求項 7 記載の 3 D マルチメディア装置。

【請求項 9】

前記イベントトリガをチェックし、前記 3 D に関連するイベントを予め決定されたトリガ条件と比較し、前記予め決定されたトリガ条件が前記メインの 3 D コンテンツで生じたときに、表示すべき関連する補助のコンテンツをサーチするイベントエンジンを更に備える、

請求項 7 又は 8 記載の 3 D マルチメディア装置。

【請求項 10】

前記メインの 3 D コンテンツは、ユーザにとって関心のあるオブジェクトを含み、

前記更新手段は、前記補助のコンテンツの前記深さの値を、前記補助のコンテンツを前記メインの 3 D コンテンツにおける前記オブジェクトと一体となって表示させるために更新する、

請求項 7 記載の 3 D マルチメディア装置。